

2012年3月8日

## 「東京スカイツリー®地区」熱供給（地域冷暖房：DHC）事業

### 大規模災害時の大容量水蓄熱槽・保有水

### 提供に関する協定締結について

**安心・安全の街づくり、地域防災に役立てて頂くべく、最大約23万人の生活用水を提供**

東武鉄道株式会社  
株式会社東武エネルギーマネジメント

本日、3月8日、東武鉄道(株)（本社：東京都墨田区）100%子会社の(株)東武エネルギーマネジメント（本社：東京都墨田区）では、施設内に設置する大容量水蓄熱槽の保有水最大約7,000トン、地震等災害時における被災者の生活用水として、墨田区に提供する協定を同区と締結いたしました。

なお、大容量蓄熱槽・保有水量約7,000トンは、25Mプール（標準水量約400トン）換算で約17杯分、ドラム缶（200リットル）換算では約3万5千本分となります。1日に成人が使用する生活用水は「約30リットル/人」と言われており、全量を提供した場合には、約23万人分量となります。

災害時に備えて生活水の確保を進める墨田区と、自社グループで保有する蓄熱槽内の大量の水を災害時に使用することにより、地域防災へ貢献したいという(株)東武エネルギーマネジメントの思いが一致し、今回の協定締結の運びとなったものです。

なお、同保有水を消火用水としても提供を行う計画です。火災発生時には消火活動を優先し提供してまいります。

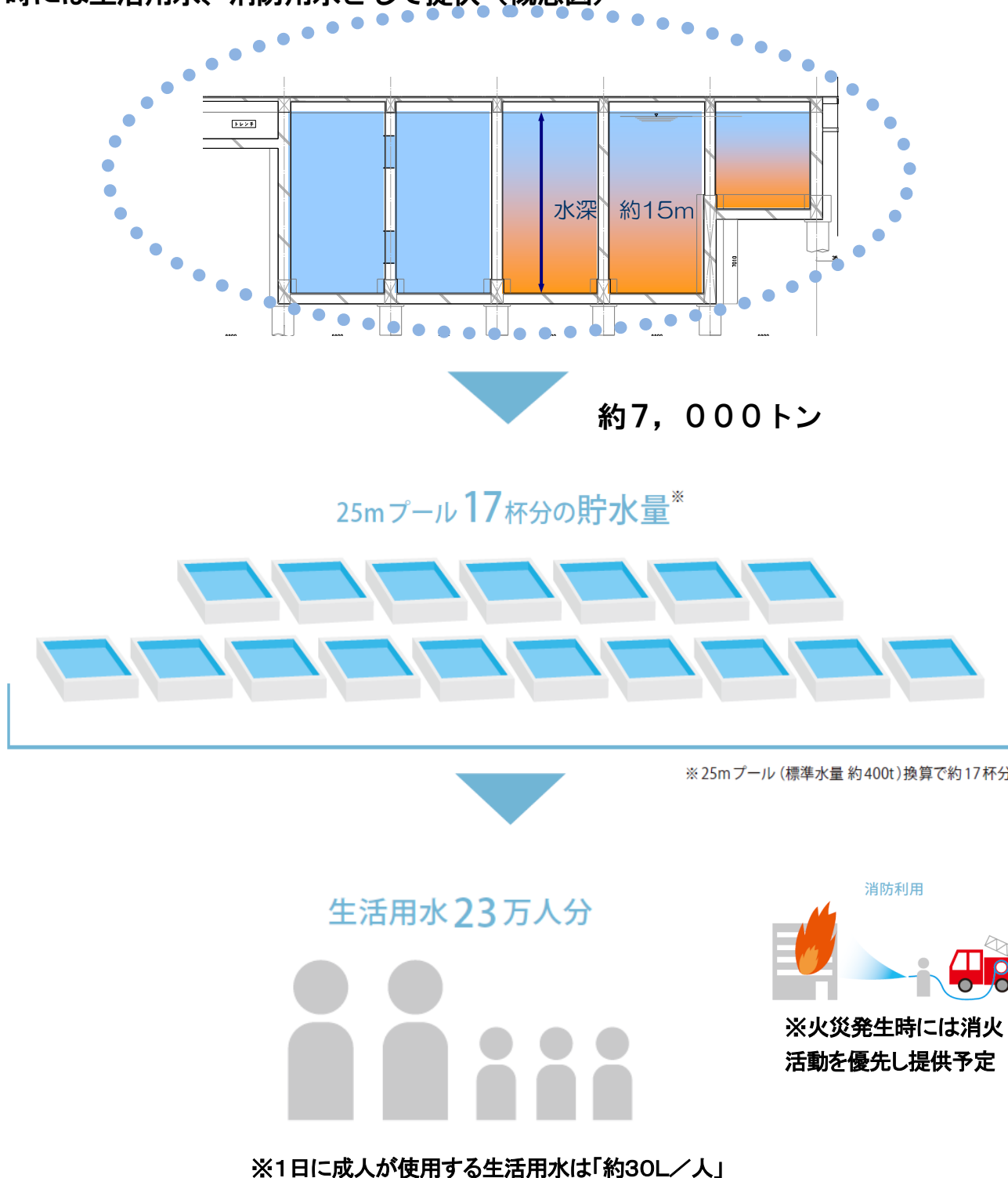
墨田区と締結する協定の概要は、次のとおりです。

以上

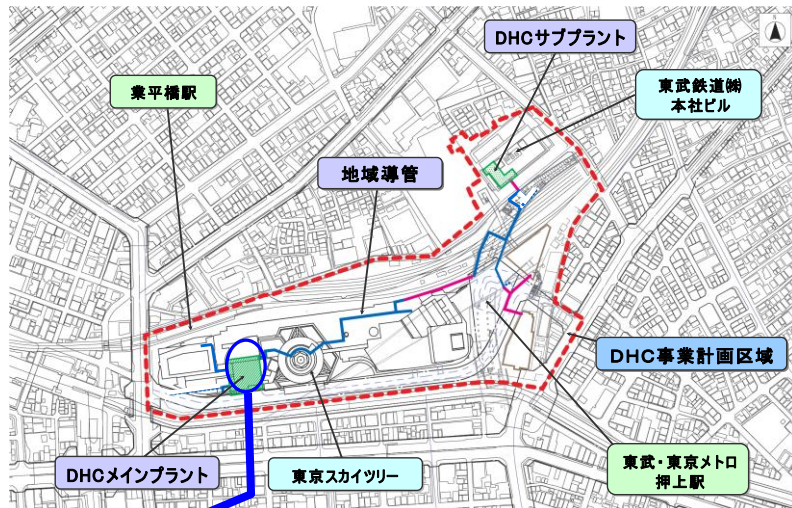
#### ◆協定の概要について

- |          |   |
|----------|---|
| 1 名称     | 災害時における貯水の利用等に関する協定   |
| 2 協定期間   | 2012年3月8日より1年間（以後自動更新）  |
| 3 内容     |   |
| ① 貯水の提供  | 墨田区は、(株)東武エネルギーマネジメントへ提供について申請、その際必要水量を提示する。これに対し、(株)東武エネルギーマネジメントでは提供可能な水量を提示し、協議のうえ決定した水量を提供する。 |
| ② 協力要請   | 墨田区は、必要と認めたときは、(株)東武エネルギーマネジメントに対し応急給水活動について協力を要請し、(株)東武エネルギーマネジメントは可能な限り協力する。                    |
| ③ 貯水の取だし | 貯水の取だしは、(株)東武エネルギーマネジメントの施設を利用し、墨田区が用意した資器材で行う。   |

◇ 熱供給「大容量水蓄熱槽」の保有水約7,000トン、大規模災害発生時には生活用水、消防用水として提供（概念図）

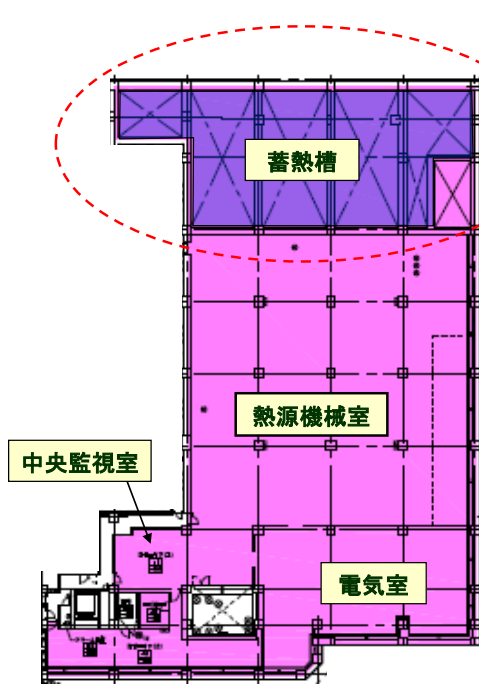


### ◇ 熱供給「大容量水蓄熱槽」の概要

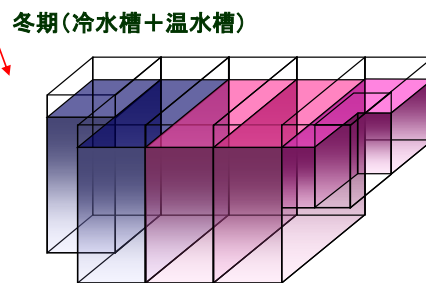
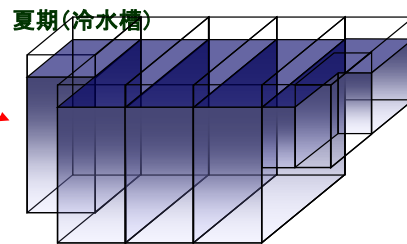


▽ メインプラント(地下2F)

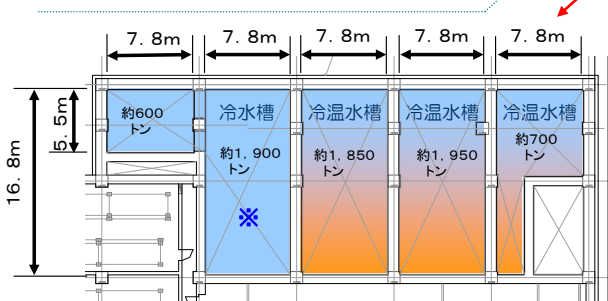
▽ 「大容量水蓄熱槽」(保有水量約7,000トン)



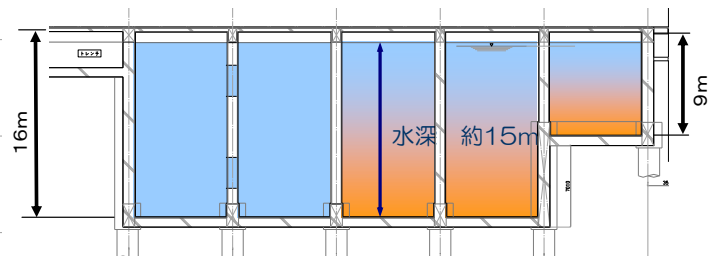
△ 図2 「メインプラント」平面図



△ 図3 「大容量水蓄熱槽」立体図

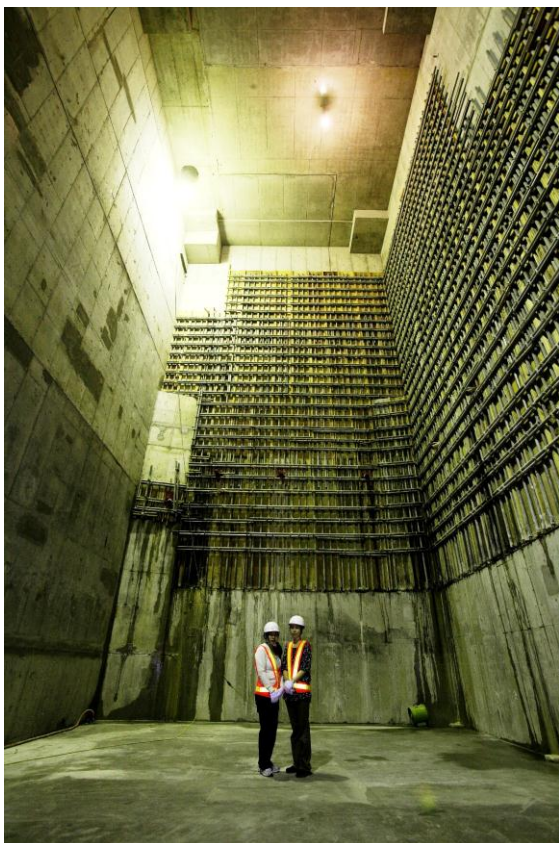


△ 図4 「大容量水蓄熱槽」平面図



△ 図5 「同左」断面図

以上



◁ 工事中(2011年6月)の「大容量水蓄熱槽」(高さ16m、水深約15m)。このような槽が4槽あり、合計保有水量は約7,000トンとなります。



△ 断熱・防水工事が完成した「大容量水蓄熱槽」。この後注水し、現在は満水となっています。

(ご参考)

## ◇ 「生活用水」 提供方法

墨田区手配の給水タンク積載のトラックを「東京スカイツリータウン」ウエストヤードB 1 F 駐車場に停車させ、当該階パイプシャフト内の冷却水補給水配管・縦管に設けた取り出しノズルに、ホースをつなげ、トラックに積んだタンクに給水します。

なおその際には、冷却水補給水ポンプの吸込配管に蓄熱槽配管をつなげ、同ポンプを運転、蓄熱槽水を汲み上げ、給水します。

ポンプの汲み上げ水位以下の蓄熱槽水は、蓄熱槽のマンホールから、区所有の水中ポンプにて汲み出す計画です。

給水タンクに水を積み込んだトラックは、被災者の避難場所等へ移動し、水を配る計画です。

### ▽ 墨田区手配の給水タンク搭載トラック(イメージ) ※東京スカイツリータウンB1F駐車場に停車



※取り出しノズルにホースをつな  
ぎ、トラックに積んだタンクに給水



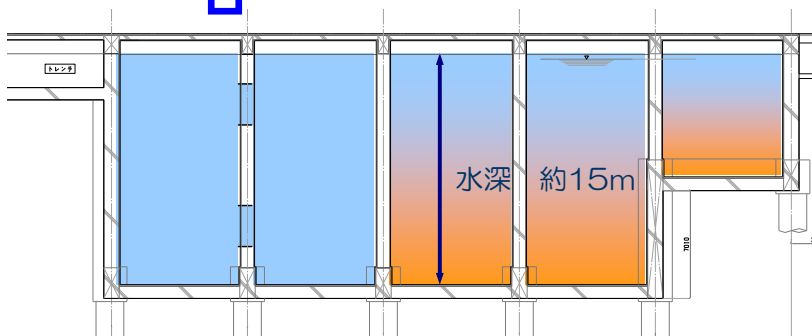
※被災者の避難場所等へ移動し

水を配る。



トイレ洗浄

手洗い等



◁ 熱供給「大容量水蓄熱槽」

以上